

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大妻女子大学短期大学部
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオツマジョシダイガクタンキダイガクブ
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F213310104213
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	科目名	インターンシップ(実習)
	学部・研究科等名	短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻
	担当教職員名・役職	池頭 純子:教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	25
	受入企業等数	9
	受入企業等名	HCアセットマネジメント(株)、UBPインベストメンツ(株)、(株)サイサン、(株)Aコープ東日本、(株)NCネットワーク、大和合金(株)、TIC東京(森トラスト・ホテルズ&リゾーツ(株))、デジタルソリューション(株)、認定特定非営利活動法人経営支援NPOクラブ
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	例年は原則5日間だが、令和2,3年度はコロナ禍により、4日以下のインターンシップも、事前・事後学習と併せて5日以上プログラムとして実施している。	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) 3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	経営トップ、実務経験者による講演
	1-3.上記回答内容に関する詳細	この科目を履修するためには、前期科目の「インターンシップ・リテラシー」(15コマ)の履修を必須としており、企業で実習を行うために必要なマナーやコミュニケーションスキルを身につけたうえで実習に参加することで、働くことの意味について考え、就職意欲・学習意欲を向上させることを目指している。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
要素②	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	短期大学 1年 短期大学 2年

2-4.当該インターンシップで付与される単位数	短期大学 1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細	1・2年次を対象に、事前学習を行ったうえで休業期間中に実習を行い、終了後は報告会を開催している。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
3-2-1.該当する事前学習の内容	<p>1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている</p> <p>2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている</p> <p>3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている</p> <p>4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している</p> <p>5.その他</p>
3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	前年参加者による報告会、教員による個別面談
3-2-2.該当する事後学習の内容	<p>1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている</p> <p>2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている</p> <p>3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている</p>
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	学生は毎日担当教員にメールで報告をし、教員からはフィードバックが行われる。実習後教員による個別ヒアリングを行っている。
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	社会人としてのマナーや守秘義務の遵守の指導を行っている。Excel等、PCの操作方法の指導を行っている。実習先企業について企業研究を行いプレゼンを行っている。実習ノートの作成を含め事前学習中に繰り返しインターンシップにおける成果目標を確認させ、行動計画の策定もを行っている。事前指導として設けている「インターンシップ・リテラシー」において、インターンシップ実施の目的や達成目標について繰り返し指導している。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実習ノートを用いて現場での体験の振り返りを行っている。実習終了直後に企業に手書きのお礼状を書くことを課しており、教員が事前のチェックを行っている。報告会を行い、インターンシップの成果について学内で報告を行うとともに、受け入れ企業や担当社員へ資料送付を行いフィードバックを行っている。担当教員と事後面談を行い、企業からの評価表をもとに、目標の達成などについて確認を行っている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	企業で行われる発表会に教員が参加している。また平時であれば教員が企業を訪問し、学生の様子をモニタリングしている。（令和3年度はコロナ禍のため中止した）
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	実習先の担当者にも評価表を提出していただいている。
4-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習として、実習先企業の研究や成果目標・行動計画の策定を行うことで学生の動機付けを行っている。 また、実習後に報告会を開催し、事後面談を行うことで、実習前後の学生の変容を把握・共有している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	5日（2社）、6日（1社）
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	5日（3社）、6日（3社）
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細	実習のみで5日以上実施している企業もあるが、全ての実習先で事前事後学習を含めて計5日以上の実施としている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	7.その他
6-3.上記回答内容に関する詳細	実習実施後に企業へのアンケート調査を行っている。 実習先にも評価していただいている。 また、実習中には企業からだけでなく、教員からも学生にフィードバックを行っている。 実習後には企業へのアンケート調査も行い、今後活かすこととしている。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://unipa.otsuma.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp

問い合わせ先	大学等名	大妻女子大学
	担当部署名	教育支援グループ
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	03-5275-6061
	メールアドレス	kyoiku@ml.otsuma.ac.jp